

特集

23春闘 賃上げも、お休みも

♣ 屏 国際支援活動の 射程をひろげる 仁茂田芳枝 1

♥ まなぶということ 飯島貞親 2

♠ 詩 ナターシャ・グジー は歌う 矢野俊彦 4



休暇は、取得できていますか……………中川 亮 6

休むことも仕事のうち……………深谷瑛章 10

要因は数多あるけれど、厄介なのは、同じ教員の圧力……………多田裕介 12

だれもが働きやすい職場づくりをめざして……………武井美由子 15

23春闘 賃金も労働環境の改善も！……………上月三四郎 17

格差をなくし、まっとうな公共職場に……………瀬山紀子 19

日本のうしろ 世界のうしろ

過去最大の一般会計予算、アベノミクスに戻った？……………横田昌三 21

労働者階級が息を吹き返した英国……………浦田 誠 21

職場の法律相談 残った有給休暇は買ってもらえるの……………中川 亮 29

まなぶ論壇 図書館で拉致問題の本を買え、子どもに読ませろ

子どもが図書室からよく本を借りてくる親として……………江藤惠美 32

拉致問題に関する図書の充実にご協力を……………上村博史 32

◆私はこう考える

拉致問題啓発週間をめぐる動きと意図……………佐藤礼次 32

憲法 14 大臣の更迭をめぐるあれこれ……………北川鑑一 52

経済講座 5 大株主の資本が支配……………熊谷重勝 56

誌上学習会『イギリスにおける労働者階級の状態』……………5

工業とプロレタリアート……………60

◆ キャラバンサライ	◆ スポーツ時評	◆ 世界はいま	◆ 経済を知ろう！	◆ 数字を疑え
46	44	42	40	38
◆ 中国観看	◆ たちみ席	◆ この本を読んで	◆ 情報BOX	◆ 北から南から
65	64	51	50	48
◆ センターとみなさんをつなぐ				
68				
カット＝野崎安希子				

まなぶということ

増税で戦争を準備することの愚かしさ

飯島 貞親

敵基地攻撃能力の保有をめぐる費用をどうするかが議論されている。

政府は、軍事的脅威を煽っているが、どの国がどういう状態で侵略してくるの科学的・客観的な分析がないまま費用のことが先になっている。ことあるごとに「日本を取り巻く安全保障環境はますます厳しさを増しており」という決まり文句をくり返し、マスコミも「ますます」という。これが、いつからに比べて、どのように、脅威が増しているのかの身を問うことはない。これを毎日によくくり返されると、国民は根拠不明のまま不安感が刷り込まれていく。

一方で「敵基地攻撃能力」では専守防衛を否定するため「反撃能力」と言い換えがされている。先の戦争では撤退と転進、全滅と玉砕、敗戦と終戦などがくり返された。

では、空襲と空爆はどうだろう。

「東京大空襲」を「大空爆」とは言わない。地から空を見ている状態で、下から目線つまり庶民目線だからと解釈できる。一方、湾岸戦争でもウクライナでも「空爆が続いている」という言い方がされている。客観的な報道のつもりなのだろうが、加害と被害の関係があきらかにされていないのではないだろうか。

以前、中東での戦争の時に夜間の閃光に対して「花火のようだ」と形容したアナウンサーがひんしゆくをかったことがある。閃光の下で逃げ惑う民衆の悲惨さを想像できなかったに違いない。

さらに、税金と年貢の違いはなんだろうか。年貢は殿様が勝手気ままに使え、税金は使途を国民にあきらかにしなければならぬものはず。

森友学園の国有地パーゲン問題では、不正に悩んだ担当者が自殺にまでおよんでいる大事件なのに問題の核心が少しもあきらかになっていない。昨年、強行された安倍元首相の国葬に使われた金額は正確には明示にされないだろう。

現代日本は、殿様が君臨した時代となら変わらないと思えない。

(林野関連退職者の会)